

幼児センター だより みらい

発行日 平成30年2月20日

所長 野島照久

～ 幼児センターで “鬼” 退治 ～

2月2日(金)の節分の日には、恒例の「節分の会」が行われました。当日は、子どもたちが思いを込めて一生懸命に作った「お面」をかぶり作品紹介。お面は、赤鬼・青鬼・黄鬼・緑鬼などカラフルな鬼が揃いました。ただ、子ども達の表情はいつもとちょっと違って、なんとなく不安そうです。それはこれから鬼が来るので、ちょっぴり鬼が怖いようです。歌「まめまき」を合唱した子どもたちの手には鬼を退治するための豆が準備され、



いよいよ「豆まき(福は内・鬼は外)」の始まりです。初めは赤鬼の勢いに驚きひるむ子どもたちでしたが、先生たちの助けもあって徐々に子どもたちの反撃が勢いを増し、年のせいもあってか、赤鬼はタジタジの状態で逃げていきました。最後に、鬼を退治した子どもたちは、みんなで仲良く豆を食べました。



2月7日(水)は、たいよう組が給食指導をしていただきました。この日は、いつもの保育士の先生ではなく、町の栄養士の谷口先生に教えていただきました。右の写真はその時、赤ちゃんと同じ大きさで同じ重さの人形を抱かせてもらった所です。「5年前にはみんなもこんな大きさの赤ちゃんだったんだよ。好き嫌いしないで何でも食べたから、いまみたいな大きな体になったんだよ。」と教えてもらい好き嫌いしないようにしようという気持ちになりました。



…お願い…

◎3月は、卒園式に向けた活動が始まります。時間を守ることの大切さを知らせるためにも、8時30分までの登園時間をしっかり守りましょう。

◎3月7日(水)は、今年度最後の納入日です。期日を守りましょう。

◎卒園・修了式に向けて、手紙の配付が増えます。しっかり目を通し、時間・持ち物等を確認しましょう。

◎事前に決まっている家庭の用事での欠席は担任へお知らせ下さい。また土曜日欠席も事前に分かっている場合はお知らせ下さい。(午睡用寝具の持ち帰り、給食食数などの目安にさせていただきます。)



* インフルエンザ・感染症に気をつけましょう! *

全国的には猛威を振るっているインフルエンザ! 古平町での流行はまだ聞いていませんが、インフルエンザや感染症にかからないために、日頃の生活リズムを整え予防していきましょう。早寝早起き、栄養バランスのとれた3度の食事、衣服の調整、適度な運動、手洗い・うがいなどを心掛け、残り少ない冬を元気に乗り切りましょう。

また、お子さんの様子で気になることがある場合は、感染予防、悪化防止のために家庭で様子を見ましょう。また、早めの受診をお願いします。

咳・くしゃみの時のエチケット

インフルエンザなどのウィルスは、感染している人の咳やくしゃみの飛まつに含まれていて、その飛まつが付着することで感染します。咳やくしゃみの症状があれば、以下のことに気をつけてウィルスを広げないようにしましょう!

★マスクをする。

★咳やくしゃみをする時は、口と鼻をハンカチやティッシュなどで覆う。

ハンカチなどが無い場合は、周りの人から顔をそらせ、手や腕で口を覆う。



進級・就学に向けて

進級や就学を迎える時期、これからは環境変化に敏感な反応を示す子どもがいます。「ひとつお兄(姉)さんになる」という言葉が嬉しくもあり、時に辛くもあり…。そんな微妙な子ども心を理解して、表情や食欲、活気など子どもの様子に気をつけましょう。

一日入学・一日進級を経験し、「自信と期待」でいっぱいの子どもたち! 卒園・進級に向け残りわずかな日々を、友だちと過ごした思い出が心に残るように大切に過ごしたいと思います。

